

会員より ~ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します! ~

■ 都市ストックのグリーン化に向けてアドバイザリー業務を通じて支援

岩田 央 (株)日本政策投資銀行アセットファイナンス部調査役【金融部会】)

不動産や都市のストックに対する投融資を通じて、建物や地域の省エネ・再エネ導入支援、カーボンニュートラルに向けた取り組みを支援し、持続可能なまちづくり実現に向けて貢献します。

● 都市の環境データを収集、管理、ベンチマークするためのArc事業を立ち上げ



Arc Performance Score

(出所: Arc Japan)

- Arcは、温室効果ガス、廃棄物の排出量、水使用量等の実績データを用いて建物や空間の環境性能を評点化するグローバルデータプラットフォーム。
- 日本でのプラットフォーム普及に向けて、US事業を担うArc Skoruおよび株式会社ヴォンエルフと共同で株式会社Arc Japanを設立。都市ストック全体の脱炭素化、エリア価値の向上に貢献します。

● DBJ Green Building認証において木材利用を評価



DBJ Green Building 認証

- DBJ GB認証は、不動産ストックに対するESGの取り組みの可視化を通して支援するDBJと日本不動産研究所による不動産環境認証制度。敷地内にグリーンインフラを整備している場合も評価対象としています
- 日本の不動産環境認証制度として初めて、木材利用の取り組みを評価する仕組みを導入。単位面積当たりの木材利用量が一定値以上の、または地域産材等を活用している建築物を積極的に評価していきます。

詳細はこちらから ▶▶▶ [「Arc Japanの企業ウェブサイト」](https://arcjapan.jp/)
(<https://arcjapan.jp/>)

プラットフォームより

■ 第2回グリーンインフラ大賞の募集を開始!

昨年始まった「グリーンインフラ大賞」の募集を今年も開始しました。グリーンインフラの推進のため、優れた取組事例を「グリーンインフラ大賞」として選定し、広く情報発信いたします。

部門	第1回グリーンインフラ大賞 受賞事例
I 防災・減災部門 雨水貯留・浸透等による気候変動・防災・減災に関する取組	 仙台ふるさとの社再生プロジェクト
II 生活空間部門 戦略的な緑・水の活用による豊かな生活空間の形成に関する取組	 〔左〕茨城県守谷市における官民連携による戦略的グリーンインフラ推進プロジェクト 〔右〕中間支援組織がつなぐ狭山丘陵広域連携事業
III 都市空間部門 官民連携等による投資や人材を呼び込む都市空間の形成に関する取組	 Marunouchi Street Park 2020
IV 生態系保全部門 豊かな自然環境・景観・生態系の保全による地域振興に関する取組	 「コウノトリ野生復帰」をシンボルとした自然再生

<応募期間>

令和3年8月12日(木) ~

9月30日(木) 17時必着

<応募区分>

左に示す4部門を対象とします。実施済み(計画・施工中の事業は除く)のプロジェクトが対象です。(実証・実験施設等も対象となります。)

- ✓ 昨年度ご応募いただいた事例についても再応募が可能です。(ただし、既に国土交通大臣賞(大賞)・優秀賞を受賞した事例は審査から除外されます。)
- ✓ また、取組に活用された技術・手法や、活用が可能と考えられる技術・手法についても、募集しています。※グリーンインフラ大賞の表彰対象外です。詳しくは詳細よりご確認ください。

詳細はこちらから ▶▶▶ [「第2回グリーンインフラ大賞の募集を開始! ~グリーンインフラに関する優れた取組事例を表します~」](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000256.html)
(https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000256.html)

プラットフォームより

■国土交通省の動き

■流域治水行動計画（令和3年7月30日流域治水の推進に向けた関係省庁実務者会議決定）

流域治水の着実な推進に向け、関係府省庁が展開する流域治水対策についてこれまでの取り組みや今後の進め方、目標をとりまとめたものです。「自然環境の持つ多様な機能を活かすグリーンインフラの活用」について記載されています。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「流域治水の推進に向けた関係省庁実務者会議」
(<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/renkei001.html>)

■令和4年度国土交通省予算概算要求（グリーンインフラ関連）

グリーン社会の実現に向けた「国土交通グリーンチャレンジ（令和3年7月）」を執行するため、令和4年度国土交通省関係予算概算要求の重点項目別の要求内容の1つとして、「グリーンインフラ等のインフラ・まちづくり分野におけるグリーン化の推進[204億(1.94倍)]」が位置づけられています。

具体的には、グリーンインフラ官民連携プラットフォームの活動拡大に加え、エリア一体となったまちづくりのグリーン化や流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラの取組の推進等の実施に向けて概算要求に取り組めます。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「令和4年度国土交通省予算概算要求概要」
(https://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_002340.html)

プラットフォームの動き（8月）

- 2021年
- 8月2日 第1回企画・広報部会ワークショップ
- 8月5日 第8回オンラインセミナー
～部会長が語るグリーンインフラの今と今後の取組み～

プラットフォーム活動報告

7月21日 業界団体セミナー（建設コンサルタンツ協会共催）を開催しました



開催概要

「グリーンインフラの推進に向けて建設コンサルタントが担う役割」をテーマとして、（一社）建設コンサルタンツ協会と共催でオンラインセミナーを開催しました。

【第1部】公開セミナー

同業界、他業界の先進事例の講演等を通じて、新たなビジネスモデルや多様な主体との連携方法など、グリーンインフラを社会実装するために必要な知見を共有しました。

【第2部】ワークショップ

新たなビジネスモデルや事業展開の可能性、技術者に求められる役割、業界として考えられる取組等について、意見交換を行いました。

建コンWS（第1部）の様子はここから（会員限定）
▶▶▶ 「プラットフォーム活動記録」
(<https://gi-platform.com/reference/#ref2021>)

会員情報

会員数:1164人・団体（2021年7月31日時点）

● 新たな一号会員

大阪府堺市、三重県いなべ市、宮崎県宮崎市

● 新たな三号会員（民間企業、学術団体等）

基礎地盤コンサルタンツ株式会社、株式会社仁風、株式会社大進、株式会社かんこう、むつみ造園土木株式会社、株式会社ランズ計画研究所、一般社団法人ドコデモヒロバ

人物紹介

グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します



おがさわら しょうご
小笠原 奨悟 出身:大阪府

パシフィックコンサルタンツ株式会社
環境・エネルギー部

環境分野のコンサルタントとして、主に自然環境の保全・活用に関する政策立案や地域実装に関わっています。グリーンインフラは、地域の魅力を形成する伝統知・地域知の伝承と気候変動等のグローバルな課題への対応の両立に資する概念として期待しています。



随時会員募集！
（登録無料）

団体でも個人でも登録可能です。
是非左記サイトからご登録をお願いします！